

行財政改革特別委員会 (10月29日・30日)

宇都宮市：第4次宇都宮市行政改革大綱及び

行政改革推進プランについて など

福島市：福島市行政改革アドバイザーについて など



福島市

宇都宮市は、市民と行政がパートナーとして課題認識を共有し、まちづくりを共に進め（共創）、限りある経営資源で行政課題に的確に対応するための改革を、選択と集中の考えのもとで進めています。福島市は15年から、民間の経営手法の導入と専門的な知識や経験が必要との判断で、経営の専門的知識がある人を行政改革アドバイザーに委嘱しています。行政改革推進の指導や支援を行い、庁内の会議でも市民目線から助言を与えています。民間目線での指導や助言は、事務事業の改善やさらなる行政改革の推進に寄与しています。

都市整備特別委員会 (5月20日・21日)

長野市：長野駅前A地区第一種市街地再開発事業について
塩尻市：塩尻駅南地区第一種市街地再開発事業について



塩尻市

長野市では、市の玄関口である駅西口で建物の老朽化や細分化されたままの土地、低未利用地への対応が課題であったが、民間活力を活用して商業施設住宅、ホテル等を複合的に整備する再開発事業により、中心市街地のにぎわいを創出していました。塩尻市は、大型店舗の郊外への進出等で中心市街地ではかつてのにぎわいが薄れていましたが、駅周辺の活性化に向けて、少子高齢社会を見据えた新たなまちづくりの発想から、グループホーム、保育園地域交流センター等で構成する福祉系の複合施設を整備していました。住民生活の利便性や地域福祉の向上に寄与しており、今後のまちづくりの参考になりました。

特別委員会の視察報告

競馬場跡地活用検討特別委員会 (10月28日・29日)

栃木県：総合スポーツゾーン全体構

想について

岐阜県：都市公園（岐阜メモリアルセンター）について

栃木県では、競馬場跡地を総合スポーツゾーンとして整備する検討を開始していましたが、県の財政負担の縮小化を図る観点からも、22年度から2カ年にわたり、PFIなど民間事業者の参画の可能性も検討するため「整備運営手法検討業務」を実施しています。

24年度には「総合スポーツゾーン全体構想」の策定に着手し、施設整備の形態や規模、機能、配置、整備運営手法、周辺の交通計画等を今年度末までに策定することになっています。



栃木県

また、第77回国民体育大会の栃木県開催が決まり、競馬場跡地の有効利用も含め、しっかりと目標を定め、計画的に進められていることを実感し、参考になりました。

虚礼廃止にご理解を!!

政治家は、日頃からお世話になった人でもお歳暮やお中元を贈ることは禁止されています。

また、年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すことも禁止されています。

皆さまのご理解をお願いします。

編集後記

今号の表紙は、駅家町に位置する「蛇円山」（標高546メートル）から撮影した日の出です。この日の出のように輝かしい一年であることを祈念しています。

定例会の質問では一問一答方式を導入し活発に議論を交わし、昨年は初めての議会報告会も開催し市民と意見交換をするなど、議会改革に取り組んでいるところです。

これら市議会の活動をより分かりやすく市民の皆さまにお伝えできる紙面になるよう委員全員で努めています。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

(生田政代)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>

【メールアドレス】

gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp

印刷／福山エビス印刷(株) ☎084-954-2200